

もくじ

はじめに 4

起業の基本を知ろう! 5

ポイント1 「やりたいこと」を実現するのが起業家 6

ポイント2 日本を代表する大企業も
誰かが起業して誕生した 8

ポイント3 自分の実力次第で
起業家の魅力は無限大に 10

ポイント4 起業しやすい時代が
日本にもやってきた 12

ポイント5 規模や成長性の違いで
起業は2種類に分かれる 14

ポイント6 国や地方自治体が
起業を支援している 16

専門家インタビュー

起業してもなくても社会で役立つ起業家精神

独立行政法人中小企業基盤整備機構 創業・ベンチャー支援部 審議役

石井 芳明さん 18

起業家に 聞いてみよう! 21



夢を語ることで仲間が集まり
課題に立ち向かうことができた

株式会社ビズリーチ創業者 南 壮一郎さん 22



世界をめぐりインターネットの本質が
人と人を結びつけることだと気づいた

Mosh株式会社 藪 和弥さん 28



「大切にしたいこと」を重ねたら
1人&自宅での「起業」になった

和菓子作家 坂本 紫穂さん 34

この本の内容や情報は、制作時点（2023年9月）のものであり、今後変更が生じる可能性があります。

自分の実力次第で 起業家の魅力は無限大に



自分の能力やスキルを頼りに生き抜くのが起業家の宿命。それだけに、会社に雇われて働く会社員にはないやりがいや達成感があり、それが起業の魅力につながっています。

起業家になった理由は？

ビジネスで大成功を収めてお金持ちになりたい。

時間に縛られず自由な働き方をしたい。

学校で学んだことや技術を生かして活躍したい。

これまでにないビジネスのアイデアが浮かんだ。

副業として始めたビジネスに対し、本気で取り組みたいと決意した。

「あの人のようになりたい！」と思える起業家に影響された。

社会の問題を解決する新しいアイデアや製品を世の中に届けたい。



起業家は、一握りの特別な人だけがなれるものではなく、男女を問わず学生からシニアまで誰でも目指すことができます。起業家を目指す理由は人それぞれですが、主に「お金持ちになりたい」「憧れの起業家に会って影響を受けた」「ビジネスのアイデアが浮かんだ」が多いようです。どんな理由であっても、起業してから「なぜ起業したんだろう……」と後悔しないためにも、起業家を目指した気持ちを大切に刻んでおきましょう。

大企業でも安泰ではない

以前は「大企業に就職すれば、ずっと安定して暮らせる」とされ、定年まで一つの企業に勤める「終身雇用」を守ることが当然でした。しかし、経済の変化や働き方の多様性の広がりなどにより、終身雇用のあり方が議論されています。こうした事情もあって、起業家を目指す人が増えています。

起業家と会社員の違い

企業に所属して業務を行う会社員と、自分でビジネスを立ち上げる起業家。「どちらがよいのか」という優劣はなく、人によって向き・不向きがあります。その違いについて、収入、責任、信頼の3つのポイントから考えてみましょう。

収入



起業家

自分の仕事の成果として、報酬を得ながら生計を立てます。事業が成功すれば大きな報酬が得られますが、失敗すれば損失を被ることも。

会社員

定められた給料日に、毎月決まった金額が給料として支払われます。給料が大きく減られることはなく、安定しています。

責任



起業家

すべて自己責任のため、仕事でミスをしたら、すべてのリスクを負わなくてはなりません。責任が大きい反面、やりがいも大きくなります。

会社員

仕事上のミスは、会社や上司が盾になって責任をとってくれることもあります。それゆえ、周囲と協調しながら仕事することが大切になります。

信用



起業家

スタート当初だと知名度も実績もないので、地道に取引先や顧客と信頼関係を築かなくてはなりません。認められるまで、苦労の連続です。

会社員

会社員個人の実績よりも、企業の実績が信用の源になるのが一般的です。有名な大企業なら、スムーズに物事が進むことも多いでしょう。

現代の起業家たち

ビジネスの最前線で活躍している起業家たち。SNSなどを通じて素顔が公開されることも多く、起業家の存在が身近に感じられるようになりました。

ソフトバンクグループの創業者

孫 正義 総資産が2兆円を超える日本有数の大富豪。東日本大震災での復興支援にも力を注ぎました。

ZOZOの創業者

前澤 友作 ファッション通販サイト「ZOZOTOWN」を開設。宇宙船に乗って宇宙に滞在した経験も。

DeNAの創業者

南場 智子 日本における女性起業家のトップランナー。2021年、女性として初めて経団連副会長に就任。

楽天グループの創業者

三木谷 浩史 インターネット通販を日本に定着させた第一人者。現在は銀行、証券、通信などにも進出。

起業しやすい時代が日本にもやってきた



インターネット環境とデジタル機器の普及で、会社員でも毎日出社せずに働けるようになりました。自律的に仕事に取り組む空気感も広がり、副業をきっかけとした起業が相次いでいます。

起業家を取り巻く環境の変化

仕事を通じた「自己実現」を求めて

自分の夢を達成するため、仕事を通じて成長を目指す「自己実現」という考えが一般的になりました。企業に就職した後でも、夢を胸に起業を目指す人が増えています。



新型コロナウイルス感染症の流行で外出自粛が求められる中、テレワークの普及が進みました。

働き方の多様性の広がり

通信技術を使ったテレワークによる在宅勤務などの普及で、特定の場所に縛られない“新しい働き方”が広がりを見せています。多様な働き方を認める空気が高まっています。

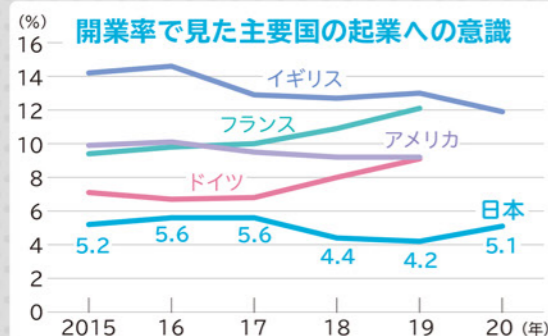


会社や自宅以外の休暇先で、くつろぎながら仕事を行う「ワーケーション」も注目されています。

起業手順の簡素化

国や自治体で起業を支援する流れが広がり、起業の手続きが以前よりも簡素になりました。起業後でも、税金処理などの事務作業の手間を減らす仕組みができています。

日本の起業意識はまだ低い？



「起業したい」と考える人が増えているとはいえ、アメリカやヨーロッパと比べれば日本の起業への意識は低いといわれています。例えば各国の開業率*を見てみると、日本はイギリスやフランスよりも10%近く低く、起業をためらう人が多いことが想像できます。

出典：文部科学省科学技術・学術政策研究所「科学技術指標2022」

*ある期間において新しい店や会社を始めた人の割合。開業率が高ければ、起業が盛んだと考えられます。

副業のしやすさが起業をアシスト

会社員として本業をこなしつつ、空いた時間でできる副業が注目されています。副業の経験から、起業に結びつける人も増えています。

「本業+副業」という働き方が広がっている

収入の減少などによる将来への不安から、副業を考える会社員が増えています。スマートフォンの普及などで副業しやすい環境が広がり、趣味や特技を生かした分野での副業も多く見られます。

昼は会社員、夜はウェブ制作を手がけるAさんの場合

本業



会社勤めに不満のないAさん。一方でもっと身近な仕事をしてみたいという気持ちもあって、ウェブ制作の経験を生かした副業にチャレンジしました。最近は副業での収入が安定し、会社を辞めて起業しようかと考えています。

副業



平日はオフィスに出社。会社員として100%活動し、その間は副業にタッチしない。

自宅ではウェブサイトの制作を行います。疲れていても、やりがいを感じられる。

副業を認める企業が増えている

「会社に見つからないように副業をこなす」というのは、一昔前の考え方。今では副業を認めることで、社員のスキルアップや成長を期待する企業も増えています。会社に依存しない働き方や態度が、求められているのです。

副業を認めた企業の主な効果

働き方の多様性を認め、幅広い人材を確保できる。

チャレンジ精神が高まり、社内の空気が活気に満ちている。



会社に依存しない、社員の自律的なキャリア形成につながった。

副業で習得した知識やスキルが、社内での仕事に活用されている。

「キャリアデザイン」という考え方

「将来なりたい自分」を想像し、仕事を中心に今後どのような経歴を積み上げるかを主体的に計画をすることを「キャリアデザイン」と呼びます。ポイントは、会社に依存しないで将来像を描くこと。自分の生き方に軸が生まれ、前向きに仕事に取り組めるでしょう。



将来なりたい自分

一歩ずつ階段を上るように、「将来なりたい自分」を目標にキャリアを描きます。転職が当たり前となり、会社に依存しないキャリア形成が今後重要になります。